

他職種からみたチーム医療における看護師の役割

高知赤十字病院

○ 中脇 恵美 公文 忍

高知大学医学部附属病院

大島 美智子 (周産母子センター)

小笠原 須奈子 (手術部)

高知県立安芸病院

岸本 智容子

三愛病院

元吉 ひとみ

岡山大学教育学部

松枝 睦美

キーワード：チーム医療 医療従事者 チーム医療における看護師の役割

I 研究目的

近年、入院日数の短縮化が進み、さらに質の高い医療ケアが求められ、チーム医療は欠かせないものとなっている。しかし、チーム医療に対する捉え方が曖昧で多様なため、実践にあたっては困難な現状といえる。

チーム医療において、看護師自身が考える看護師の役割と、他職種が考える看護師の役割を考察し、その課題についての示唆を得ることを目的とする。

II 研究方法

1. 対象

A県内の総合病院3施設5年目以上の職種（医師、看護師、薬剤師、理学療法士、栄養士、検査技師、放射線技師）合計395名にアンケート調査を実施する。

2. データ収集期間

平成16年8月～9月

3. データ収集方法

質問紙法を用いた。「チーム医療に対する知識」、「看護師に関する役割」は岡谷氏のチーム医療における看護師の役割を参考にし「コーディネイト」「ケースマネジネント」「アドボケイト」の側面から作成し択一法を用い、「看護師に望むこと」は、自由回答式を用いた。

4. データ分析方法

自由回答はKJ法を用いて分類、カテゴリー化を行なった。

5. 倫理的配慮

アンケート配布を依頼する施設の責任者に対して説明し了承を得た。対象者に対しては、参加は自由であること、個人の匿名性を厳守すること等を文書で説明し、同意の得られた対象に研究者が作成した調査用紙を配布し、据え置き法により回収した。

III 結果および考察

281名から回答を得た（回答率71.1%）。

1. 対象者の概要

対象者全体の平均経験年数は16.3年である。

2. チーム医療に対する知識

「チーム医療という言葉を知っているか」という質問に「はい」と答えたのは、全対象の97%であった。

「職場でチーム医療が行われているか」という質問で「はい」と答えたのは、全対象の 67%であった。「はい」と答えた職種で最も多かったのは薬剤師の 90%であり、医師、栄養士、理学療法士等が 78%、看護師 71%、検査技師 38%、放射線技師 25%であった。

3. 看護師に関する役割について

看護師の実施している役割について、他職種の中には「知らない」という回答があった。33%は「自分の職場ではチーム医療を行っていない」と回答し、チーム医療の実践は十分とはいえないと考えられた。

4. 看護師に望むこと

細田氏のチーム医療の4つの要素、「協働志向」「専門性志向」「患者志向」「職種構成志向」に分類した。
(表1)

表1 チーム医療で看護師に望むこと(職種別)

	医師	薬剤師	栄養士	放射線技師	検査技師	OT/PT	看護師
協働志向	情報収集・伝達・共有 役割分担 連携 他職種とのコミュニケーションの形成	情報提供 コミュニケーション 環境づくり 委員会参加	情報提供 情報交換 連携	情報の把握 情報交換 他職種との交流 連絡・調整	情報提供 時間調整 職種間の橋渡し 役割分担 相互理解	情報提供 情報交換 専門性の認識 の共有	情報提供 役割認知
専門性志向	専門職としての自覚 積極的な医療の場への参加 医療体制への柔軟な対応 知識・勉強・教育	専門性を持って もらいたい 接遇 問題点を見出し、 解決案を提示		知識の補充 接遇	後輩の育成	情報や知識の 提示 接遇	勉強・教育・ 指導
患者志向	患者へのサポート・ 代弁者	患者へのサポート		患者のメンタル ケア	患者のメンタルケア	患者のメンタル ケア	患者支援
職種構成志向	リーダーシップ 看護師の専門性の 発揮(カンファレンス)		調整役	意見交換	リーダーシップ 中心的役割	リーダーシップ	意見交換

中カテゴリーでは、それぞれの職種によりチーム医療で看護師に望むことへの特徴が現れている結果であった。

全体的に他職種が看護師の役割として望む意見の多くに、「看護師が得た情報を提供してほしい」「看護師だけの情報にしないでほしい」などの、情報の伝達を求めている。このことは、患者に対する情報源の一つに、看護師の存在を捉えている。

連携に大切な側面としての大カテゴリーは同じであった。

他職種が看護師に望むことの 25%は情報伝達、知識補充・役割認知は各々12%、リーダーシップは9%、専門性8%、患者支援が7%、責任、相互理解、連携が各々5%、カンファレンスが4%であった。医師・薬剤師は、協働・専門性志向のカテゴリーが多い。栄養士・検査技師・放射線技師・PTは協働志向のカテゴリーが多い。全職種とも、患者志向が低い。

チーム医療をおこなう上で、他職種が考える看護師の役割と認識の差があることは、チーム医療が有効に機能できない原因の一つではないかと考えられた。

看護師自身の専門性を発揮する為にもお互いの専門性を認め合う視点が必要なのではないかと考える。

IV おわりに

チーム医療の中で看護師の役割について各職種で認識の差がみられ、構成概念の比重が異なっていることがわかった。チーム医療を実践する上で、各職種が看護師に望んでいるものについて考えるという視点と専門性を認め合う視点が必要である。

〔平成18年7月6・7日 第37回日本看護学会 看護総合(宮崎)にて口頭発表〕